

(4) 専攻未定者の履修

履修例1： 1年次に副科目として、消化器機能治療学および分子腫瘍学の講義を選択した。関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、生命倫理学、研究倫理、実験動物学、産学連携ガイダンスの4科目を選択した。

主として専攻する科目は2年次において選択するが、副科目として履修した消化器機能治療学が主科目となったため、消化器機能治療学の演習と実験実習および新たに副科目として消化器外科治療学の講義を履修した例である。

履修例2： 1年次に基礎的および先端的知識と技術習得するため、共通科目として、生命倫理、疫学・臨床疫学、産学連携ガイダンス、大学教員養成プログラムの4科目を選択した。主科目として2年次において脳神経治療学講義、演習、実験実習を選択、副科目として分子細胞形態科学（発生生物学コース）および生体情報薬理学の講義を履修した例である。

	授業科目の名称	単位数	履修例1	履修例2	
授業科目の概要	専門科目 (主科目)	(生体機能形態医学分野)			
		消化器機能治療学講義	4	○	
		消化器機能治療学演習	4	○	
		消化器機能治療学実験実習	4	○	
		(生体制御医学分野)			
		脳神経治療学講義	4		○
	脳神経治療学演習	4		○	
	脳神経治療学実験実習	4		○	
	専門科目 (副科目)	(生体機能形態医学分野)			
		分子細胞形態科学(発生生物学コース)講義	4		○
		消化器外科治療学講義	4	○	
		(生体制御医学分野)			
	生体情報薬理学講義	4		○	
	共通科目	(健康生態医学分野)			
		分子腫瘍学講義	4	○	
(共通科目)					
生命倫理学		1	○	○	
医学統計学		1			
研究倫理		1	○		
疫学・臨床疫学		1		○	
分子生物学入門		1			
実験動物学		1	○		
英語論文作成法	1				
産学連携ガイダンス	1	○	○		
大学教員養成プログラム	1		○		
医学研究セミナー	1				
特別研究	生命医科学特別研究	6	○	○	
合計修得単位数			30	30	